

2024年7月16日

[配信枚数3枚]

発信元 滋賀大学広報課

報道関係者 各位



滋賀大学 ×



NIFREL®

生きものの観察を通して探究の楽しさにふれる 小学生向け学習プログラム『予想外にふれる』を共同開発 7月11日より運用開始

滋賀大学教育学部・加納研究室と「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」(大阪府吹田市、館長：小畑 洋)は、共同で学習プログラムを開発し、2024年7月11日(木)より運用を開始しました。ニフレルに来館予定の小学校団体をはじめ、ご家庭でもお使いいただける無料のプログラムです。



[概要]

本学習プログラムは「探究」をテーマに、生きものを観察することや、ものごとに疑問を持ち自分なりに推論・考察することを通して、探究の楽しさや面白さに気づいてもらうことを狙いとしています。

プログラムは、①ニフレル来館前の事前学習、②来館学習、③来館後の事後学習の3つの段階に応じたワークで構成され、利用者は、ニフレルキュレーターがナビゲートするオリジナルのアーカイブ動画を視聴し「ペンギンはトリなのか」を考える事前学習や、ニフレルの生きものを観察し気づいたことを伝える来館学習と事後学習によって、多面的なものの見方や考え方を身につけることが期待できます。対象は、小学校全学年ですが、幅広い世代の方にご利用いただける内容です。教材となる動画やワークシート、学習の手引きはニフレルホームページより無料でダウンロードし、手引きに沿ってどなたでもご利用いただけます。



[学習プログラムの教材と学習の手引き]

以下、ニフレルホームページよりダウンロードいただけます。

<https://www.nifrel.jp/eventnews/2024/07/post-194.html>



[学習プログラム開発の背景]

2020年、コロナ禍での外出自粛時期をきっかけに、ニフレルとの共同研究を開始しました。「With / After コロナ時代での社会教育施設（動物園・水族館）におけるアクティブラーニング手法の研究開発」の一環として、ニフレルに来館しなくても生きものの生態が学べる、好奇心や探究心を育むプログラムの開発を目指しました。2020年11月に初のオンラインワークショップ「カピバラの予想外にふれる」を、2021年11月に「ペンギンの予想外にふれる」オンラインワークショップを開催し、以降はAfter コロナ時代における本プログラムの実用に向け、近隣小学校での試行と内容の検討を重ねました。本学習プログラムを通して、当たり前を疑ってみる面白さや予想外にふれる楽しさを体験いただき、探究が深まることを期待しています。

[学校での実施と今後の取材について]

ニフレル近隣の小学校を中心に、本プログラムの内容と運用開始のご連絡を順次しています。本学習プログラムをご利用予定の小学校で、取材・撮影が可能な場合にはあらためてご連絡いたします。

[開発を担当したキュレーターのコメント]

プログラム開発の初期、加納先生とのお話の中で「自分で気づく」「当たり前に疑問を持つ」ということが子どもたちにとってとても大切で、そこに導いていくためには大人も伝え方を知らなければいけないということを感じました。本プログラムではできるだけ「答え」を言わず、子ども自身で探究を深めていけるよう、滋賀大学の学生の皆さんと試行錯誤を重ねながら創りました。

4年間の取り組みを、ようやくお披露目でできてとても嬉しいです。個人でも学校の皆さんでも、「気づき」を見つけられると思いますので、活用していただけると嬉しいです！

[監修者：滋賀大学教育学部・加納圭教授のコメント]

「当たり前を疑う」。これが科学の根幹です。

「あらかじめこたえを知らない状態で、証拠を探し、判断する」。これが「当たりの疑い方」、つまり「科学のやり方」です。

科学とは何か、や科学のやり方が小学生にもわかりやすく伝わるよう、私たちは「予想外にふれる」というコンセプトをたてました。また、コロナ禍でニフレルと大学で培われたオンラインと対面の良いところ取りシステムも導入することで、事前学習・来館学習・事後学習が一通りとなった学習プログラムとなっています。ニフレルのみなさんと滋賀大学加納研究室の学生5代に渡る取り組みの集大成です。学校で、グループで、ご家族で、またご友人とで「予想外にふれる」ことを楽しんでください。

企画：滋賀大学教育学部加納研究室、ニフレル

監修：加納 圭（滋賀大学教育学部教授）

●滋賀大学について [<https://www.shiga-u.ac.jp>]

【学 長】 竹村彰通

【所 在 地】 彦根キャンパス（経済学部・データサイエンス学部）：滋賀県彦根市馬場1丁目1-1
大津キャンパス（教育学部）：大津市平津2丁目5番1号

【学 生 数】 3,753名 ※2024年5月1日時点

滋賀大学は、Society5.0に欠かせないデータサイエンスを国内最高水準で体系的に学べるデータサイエンス学部、国立大学最大規模の経済学部、19専攻を擁する教育学部を有しています。「湖国から世界へ」と広がる知の拠点として、知の継承、知の開拓、知の還元を担い、ニューノーマルな時代への転換期において社会の持続的な発展に貢献するため、社会・地域・産業界とのネットワークを積極的に構築し、世界を導く新たな価値の創造に取り組むとともに、それを担う高い能力を有する人材を育成しています。2024年4月には経済学研究科に経済・経営の専門知識にデータサイエンスの実践的知識・スキルを融合させた経営分析学専攻を設置。2025年入試ではデータサイエンス学部・研究科の定員の増員し、データサイエンス領域でのトップランナーとして、高度情報人材の育成を牽引していきます。

●生きているミュージアム「NIFREL」 [<https://www.nifrel.jp>]

【名 称】 NIFREL（ニフレル）（館長：小畑 洋）

【運営会社】 株式会社海遊館（大阪市港区、社長：濱元 博之）

【所 在 地】 吹田市千里万博公園2-1 EXPOCITY 内

【営業時間】 平 日 10:00～18:00 土・日・祝 9:30～19:00

※いずれも最終入館は閉館の1時間前

※状況により変更する場合があります。

【休 館 日】 年中無休。 ※年に1回設備点検のための臨時休館あり

【施設内容】 展示ゾーン（いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、ワンダーモーメンツ、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる 合計8ゾーン）、ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」（200㎡・112席）
ミュージアムショップ（NIFREL×NIFREL）

【交 通】 大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分

【駐 車 場】 約4,100台（EXPOCITY 全体用駐車場）

●【本件に関する問い合わせ先】

滋賀大学広報課 担当：白田

TEL:[0749-27-7524](tel:0749-27-7524) MAIL: koho@biwako.shiga-u.ac.jp

NIFREL（ニフレル） PR・広報担当 西前、渋谷

TEL:[06-6876-2204](tel:06-6876-2204) FAX:[06-6876-2235](tel:06-6876-2235) MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp